

展覧会案内 2021 (令和3)

～小さな窓から大きな世界を～ 磯貝吉紀ドールハウスの魅力

2021年2月19日(金)～4月20日(火)
ドールハウス作家・研究家の第一人者であった磯貝吉紀氏(1933-2011)の作品が一堂に！2017年に寄贈された作品の他、愛娘のために制作した「けいこの家」を特別展示。また、闘病中に制作していた未完の遺作「テレビ局のスタジオ(仮称)」を初公開します。



あかりの灯る「けいこの家」



しえんどう 紙鳶洞コレクション 日本人形の美

4月24日(土)～6月6日(日)
日本の伝統文化に育まれた人形。それは様々な美術工芸の集大成であるとともに、祈りや祝いの心を託したヒトガタでもあります。人形研究家の林直輝氏のコレクションから「造形的美」と「心的美」を備えた優品約60点を紹介します。
「御所人形 鍾馗」野口光彦 作 昭和時代初期

白幡 進 回顧展 「内なる月山」を描きつづけた画人の軌跡 6月9日(水)～7月19日(月)

白幡進(1934-2018、鶴岡市出身、金沢美術工芸大学油画科卒)氏の、画業の軌跡を辿る大回顧展。美術団体「白雲社」の会員・委員として長く運営に携わり、委員長として鶴岡の芸術文化振興に寄与。身近な人々や風景から、内包する精神世界を描いた晩年のテーマ「人間の生と死」まで、広く紹介。



「新生 I」2000年制作



銅造如意輪観音坐像
平安時代末期

きんぼうざん 金峯山と修験道 —語り継ぐ歴史—

7月22日(木)～8月31日(火)
古くは多くの修験者が祈祷・参籠を行い、今も人々に親しまれる祈りの山・金峯山。庄内を治めた大名・最上氏や酒井氏に保護され、本社修復事業も行われました。出羽三山や鳥海山とともに庄内の修験の山として刻まれた長久の歴史、貴重な文化財の数々を紹介します。

酒井家庄内入部400年記念 プレ企画展 藩主の宝、藩士の宝

9月3日(金)～10月19日(火)
2022年、酒井家が入部して400年を迎えます。節目の記念事業に先立ち開催するプレ企画展。旧藩主酒井家はじめ、旧庄内藩士の家に伝わる武器や掛け軸、茶道具類を出品。重文「短刀銘吉光」、県文・後水尾天皇三大字「思無邪」など。



建寧天目茶碗 附堆朱屈輪文
天目台 中国・南宋時代カ



鶴岡市指定有形文化財
刀銘月山正信作

日本名刀展シリーズ 山形ゆかりの刀工 10月22日(金)～11月28日(日)

室町時代の月山派をはじめ、県内には名だたる刀工が多くいます。本展では、新々刀の祖・水心子正秀(赤湯)、その門人・大慶直胤(山形)、清麿の弟子・斎藤清人(温海)、米沢藩や庄内藩のお抱え刀工に加え、現代刀工まで、山形ゆかりの刀工の作刀を紹介。

第42回 鶴岡書道会会員展

12月2日(木)～12月14日(火)
鶴岡市にあり、流派を超えて活動する書道団体。昭和8年創設。

新収蔵品展 ～絵画・書跡・錦絵など～

12月18日(土)～2022年2月15日(火)
近年寄贈された美術工芸品の中から、江戸時代後期から昭和時代初期までの画人・書家による作品を紹介します。「洛中延内遊興図屏風」(六曲一双)、太田義一「松竹梅草花図欄間」など。

錦絵「庄内朝日嶽鶴之助」歌川國暉



歴史の扉4 鶴ヶ岡城 2022年2月19日(土)～4月10日(日)

江戸時代、庄内藩の政庁として機能した鶴ヶ岡城。中世以来、庄内を治める中心として、何度も増改築が繰り返されてきました。本丸には藩主が居住し、三の丸およびその周辺には藩士が集住して仕事を行い、城下町を整備して町民の暮らしに寄り添いました。「守る」「働く」「暮らす」をキーワードに歴史を掘り起こします。



鶴岡城内道具渡目録 元和8年(1622)

第28回 鶴岡雛物語 2022年3月1日(火)～4月3日(日)

旧庄内藩主酒井家や旧家伝来の雛人形と雛道具、鶴岡伝統のお雛菓子をご紹介します。特別企画や体験イベントも充実。大名家の典雅な雛祭りをお楽しみください。



有職雛



第14回「砂の会」作品展 11月2日(火)～7日(日)
第15回 寒蘭展 11月22日(月)～28日(日)
第17回 東洋蘭展 2022年3月16日(水)～21日(月)

※日程が変更となる場合もございます。ご了承ください

★今年度の合同茶会(表千家、裏千家、遠州流、大日本茶道学会)は、お休みします

致道博物館【2021】令和3年度 展覧会スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 木	1 土	1 火	1 木	1 日	1 水 常設展のみ
2 金	2 日	2 水	2 金	2 月	2 木
3 土	3 月	3 木	3 土	3 火	3 金
4 日	4 火	4 金	4 日	4 水	4 土
5 月	5 水	5 土	5 月	5 木	5 日
6 火	6 木	6 日	6 火	6 金	6 月
7 水	7 金	7 月	7 水	7 土	7 火
8 木	8 土	8 火	8 木	8 日	8 水
9 金	9 日	9 水	9 金	9 月	9 木
10 土	10 月	10 木	10 土	10 火	10 金
11 日	11 火	11 金	11 日	11 水	11 土
12 月	12 水	12 土	12 月	12 木	12 日
13 火	13 木	13 日	13 火	13 金	13 月
14 水	14 金	14 月	14 水	14 土	14 火
15 木	15 土	15 火	15 木	15 日	15 水
16 金	16 日	16 水	16 金	16 月	16 木
17 土	17 月	17 木	17 土	17 火	17 金
18 日	18 火	18 金	18 日	18 水	18 土
19 月	19 水	19 土	19 月	19 木	19 日
20 火	20 木	20 日	20 火	20 金	20 月
21 水	21 金	21 月	21 水	21 土	21 火
22 木	22 土	22 火	22 木	22 日	22 水
23 金	23 日	23 水	23 金	23 月	23 木
24 土	24 月	24 木	24 土	24 火	24 金
25 日	25 火	25 金	25 日	25 水	25 土
26 月	26 水	26 土	26 月	26 木	26 日
27 火	27 木	27 日	27 火	27 金	27 月
28 水	28 金	28 月	28 水	28 土	28 火
29 木	29 土	29 火	29 木	29 日	29 水
30 金	30 日	30 水	30 金	30 月	30 木
	31 月		31 土	31 日	

致道博物館【2021】令和3年度 展覧会スケジュール

10月	11月	12月	2022/1月	2月	3月
1 金	1 月	1 休館日	1 土	1 火	1 火
2 土	2 火	2 木	2 日	2 休館日	2 水
3 日	3 水	3 金	3 月	3 木	3 木
4 月	4 木	4 土	4 火	4 金	4 金
5 火	5 金	5 日	5 休館日	5 土	5 土
6 水	6 土	6 月	6 木	6 日	6 日
7 木	7 日	7 火	7 金	7 月	7 月
8 金	8 月	8 休館日	8 土	8 火	8 火
9 土	9 火	9 木	9 日	9 休館日	9 水
10 日	10 水	10 金	10 月	10 木	10 木
11 月	11 木	11 土	11 火	11 金	11 金
12 火	12 金	12 日	12 休館日	12 土	12 土
13 水	13 土	13 月	13 木	13 日	13 日
14 木	14 日	14 火	14 金	14 月	14 月
15 金	15 月	15 休館日	15 土	15 火	15 火
16 土	16 火	16 金	16 日	16 休館日	16 水
17 日	17 水	17 土	17 月	17 木	17 木
18 月	18 木	18 日	18 火	18 金	18 金
19 火	19 金	19 月	19 休館日	19 土	19 土
20 水	20 土	20 月	20 木	20 日	20 日
21 木	21 日	21 火	21 金	21 月	21 月
22 金	22 月	22 休館日	22 土	22 火	22 火
23 土	23 火	23 木	23 日	23 休館日	23 水
24 日	24 水	24 金	24 月	24 木	24 木
25 月	25 木	25 土	25 火	25 金	25 金
26 火	26 金	26 日	26 休館日	26 土	26 土
27 水	27 土	27 月	27 木	27 日	27 日
28 木	28 日	28 火	28 金	28 月	28 月
29 金	29 月	29 水	29 土	29 火	29 火
30 土	30 火	30 木	30 日	30 水	30 水
31 日		31 金	31 月	31 木	31 木

歴史の扉4「鶴ヶ岡城―守り、働き、暮らす拠点―」（4月10日まで）

第28回 鶴岡雑物語（4月3日まで）

新収蔵品展

歴史の扉4「鶴ヶ岡城」

新収蔵品展

絵画・書跡・錦絵など

第42回 鶴岡書道会会員展

新収蔵品展

日本名刀展シリーズ 山形ゆかりの刀工

藩主の宝、藩士の宝

山形ゆかりの刀工

酒井家庄内入部400年記念 プレ企画展 藩主の宝、藩士の宝

開山1350年記念 金峯山と修験道―語り継ぐ歴史―

白幡進回顧展―内なる月山を描きつづけた画人の軌跡―

金峯山と修験道

白幡進回顧展―「内なる月山」を描きつづけた画人の軌跡―

紙鳶洞コレクション 日本人形の美

小さな窓から大きな世界を、
機貝吉紀ドールハウスの魅力

日本人形の美

※旧西田川郡役所は、令和3年6月中旬から修理工事終了までの間、内部見学は出来ません。

2021年度 致道博物館 展覧会のご案内

今でも江戸時代・城下町の趣が漂う町、山形県鶴岡市。
致道博物館は、徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする旧庄内藩主酒井家が、
郷土文化の向上のために土地建物や伝来品を寄付し、昭和25年に創設されました。
移築した3棟の重要文化財建造物、国指定名勝庭園を保存公開しているほか、
考古・歴史・民俗・美術工芸などの多分野にわたる資料や
酒井家伝来の文化財を豊富に展示し、庄内の歴史と文化を広く紹介しております。

ご観覧のご案内

開館時間／休館日

3月～11月 9:00～17:00(受付終了16:30)／無休
12月～ 2月 9:00～16:30(受付終了16:00)
／水曜日、年末年始休館

入館料金

(消費税込)

	個人	団体(20名以上)
一般	800円	700円
高大生	400円	300円
小中生	300円	200円

100名以上に特別割引もございます。事前にご予約ください。
※この料金で企画展のほか常設展示6棟および庭園を観覧いただけます

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
(鶴岡公園西隣)

電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
<https://www.chido.jp/> E-mail:infochido@chido.jp



致道博物館
CHIDO MUSEUM

館名の「致道(ちどう)」は、庄内藩校致道館に由縁し、出典は『論語』で「君子学んで以て其の道を致す」です。



国指定
重要文化財

山村豪雪地帯の多層民家



国指定
重要文化財

明治期創建の警察署



国指定
重要文化財

明治天皇行幸の郡役所

山形県庄内地方の
歴史と文化財が集約!!

見どころが
いっぱいあります
お楽しみ
ください!

日本遺産に認定された
建造物や資料群も充実しています



藩主の隠居所
明治以後の酒井伯爵邸



国指定
名勝庭園

東北稀有の書院庭園



国指定
重要有形
民俗文化財

庄内地方の生活用具



民具と職人の道具



企画展は美術展覧会場で

公益財団法人致道博物館 交通案内



●JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分

●山形自動車道
鶴岡I.C.より
車で5分

●庄内空港より
車で20分